



藤本 みのる 通信

Vol 385

2021年12月14日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

脱炭素で未来を拓く

TBS テレビ日曜劇場『日本沈没—希望のひと』が最終回を迎えました。「地球環境の危機」や「正義・リーダー論」を扱う見ごたえのあるドラマでした。最後のシーンで、田所博士が「止められるのは今しかない。それができなかつたら地球は終わる」と話したことが、強く印象に残りました。リアルな世界では、英国グラスゴーで、10月31日から2週間、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)が開催され、2050年までに世界の二酸化炭素排出量を実質ゼロにし、2030年までに2010年比で約45%削減する努力を追及すると合意しました。エネルギー大転換への挑戦です。日本政府は石炭火力発電に固執し、環境NGOから「化石賞」を送られましたが、それでも脱炭素に舵をきりました。地域脱炭素ロードマップ(2021年6月)では「2030年の中間目標達成は、地域主導で進める。国はそれを全面的に支援し、それによって地域活性化が図れる」としました。

私は一般質問で、脱炭素で地球と大月市の未来を拓こうと提案します。太陽光発電、バイオマス利用、小水力発電など再エネに関わる仕事、省エネに関わる仕事を再建し、くらしを再建する。

「RE100」脱炭素で企業誘致に取り組むことを、大月市の将来像として描きました。

松戸市民発電所第1号



2021年4月末から稼働
教会の陸屋根に14.88KW
(310Wパネル48枚設置)
太陽光パネルオーナーを募集
(1枚5万円、10年間返済)
所有者は非営利型一般社団法人
(第三者PPA)
太陽光発電した電気は
①教会が自家消費
②余剰はFITで売電
教会負担は従来の電気代のみ
それで太陽光発電施設の
初期投資費用が回収できる仕組
パネルオーナーは
現在44人(募集中)
『市民発電所台帳2021』より

【藤本みのる活動日誌】

12月15日(水) 一般質問

12月17日(金) 総務産業常任委員会